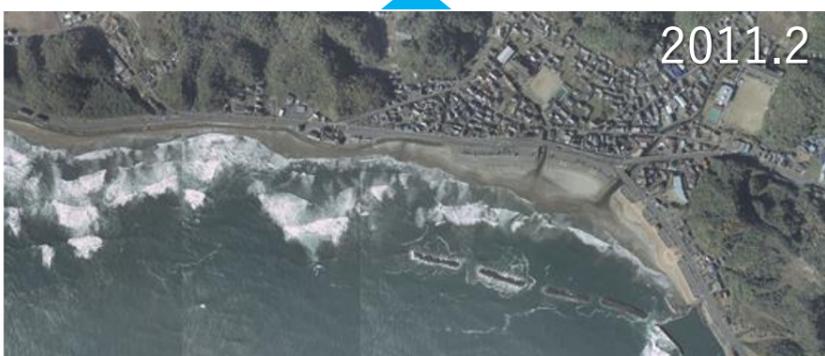


# 永崎地区

福島県いわき市



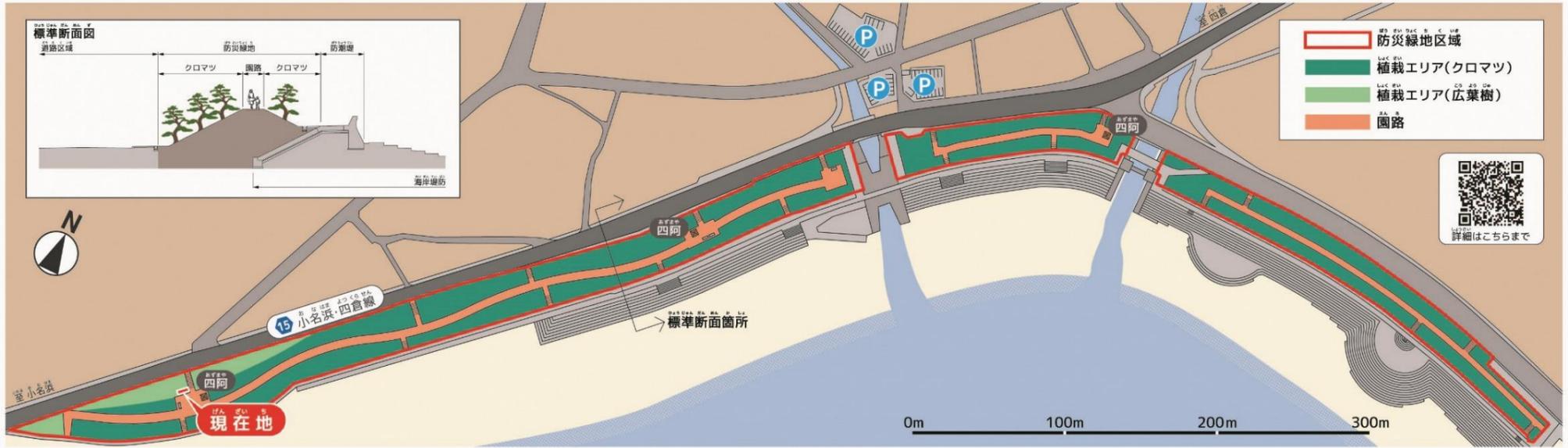
永崎のうつりかわり



来て見て永崎



# なが さき ぼう さい りょく ち あん ない ず 永崎防災緑地案内図



**ぼう さい りょく ち 『防災緑地とは…』**

防災緑地は、①津波から人や家を守る、②地域の交流の場、③緑豊かな環境や景観をつくるという3つの大きな役割をもっています。

また、川や海の堤防と道路がいっしょになって津波から地域を守る「多重防御」という動きによって、防災力が総合的に向上したまちづくりを目指しています。

**なが さき ぼう さい りょく ち 『永崎防災緑地について』**

永崎防災緑地は、延長約1.1km、幅約25mで面積2.2haの防災緑地です。

潮風に強いクロマツを基本とし、住宅地側には永崎地区に自生している代表的な樹種（クヌギ等の広葉樹）を植えた緑地帯となっております。

**ぼう さい りょく ち 防災緑地をきれいにしましょう。**

永崎防災緑地は、みなさんが楽しく過ごすための施設です。施設をいつもきれいにするためには、一人一人がマナーやルールを守ることが大切です。

お弁当やジュースの空き缶などのゴミ、また、ペットのフンは必ず持ち帰りましょう。

※この案内図は、防災緑地に実際にあるレイアウトを採用しています。

施設に関するお問い合わせ先 福島県いわき建設事務所管理課（電話）0246-24-6122

## 永崎防災緑地周辺の見どころ



▲永崎海水浴場とマリンタワー

### 永崎海岸

マリンタワーを南に望みまっすぐに伸びているのが『永崎海岸』です。海水浴場としてだけではなく、サーフィンなどにも利用されています。

ここから東に約100m

写真提供：一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー



▲永崎海水浴場を海から見る



▲上空から見る永崎海水浴場と江名鉄道

### 江名鉄道 永崎駅

小名浜 - 永崎 - 中之作 - 江名を結ぶ『江名鉄道』は昭和28年から昭和40年代初め頃まで運行していました。

現在永崎防災緑地があるこの場所は、江名鉄道の『永崎駅』があった場所の近くで、昭和30年代後半の最盛期には多くの海水浴客に利用されていました。

写真提供：比佐不二夫氏（昭和30年代）



▲永崎海水浴場近くを走る江名鉄道の気動車



▲現在の臍(へそ)石

### 臍(へそ)岩

永崎防災緑地から東の方向にある竜ヶ崎のへそによく似ていることから『臍(へそ)石』と呼ばれる奇石があります。

石の場所が変わると『暴風雨が起きた、疫病が流行した』などの言い伝えがあります。周辺部の浸食により、10年以上もの間行方不明となっていました。震災後の海岸堤防復旧工事の際に付近の砂の中から見つけれられたそうです。

近くには『あわび石』、『かぶと石』と呼ばれる奇石もあり、奇石群となっています。

ここから北東に約800m



防災緑地入口看板



1号広場 (あずまや (四阿と縁台))



ベンチ